

大石神社秋季大祭

令和元年9月29日(日)
午前9:30 午後1:00
予備日10月6日(日)

金吾様踊り



さつま町中津川地区に伝わる「金吾様踊り」は、織田・豊臣時代にいた、
那答院島津家初代・金吾(左衛門督)歳久を祀る「大石神社」秋季大祭に
奉納される踊り。

踊りの紹介

子どもみこし



子どもハンヤ



恵光保育園

手踊り



弓之尾恵友会



棒打ち舞

戦国時代から踊られていたと伝わる、大念仏行列の一つ
祭の地を清める舞と言われ神楽系統の棒技と見なされる。



地割舞

400年前から踊られてきた大念仏行列の中の一つ、由来につい
て諸説あり領地を決める地割り説と、祭神をお招きする地を清め
る為の舞とあります。



稚見舞

大念仏行列の一つで、清純無垢な稚児は祭りの場で神のよしまし
として重要な役を与えられた。子ども自身の無病無災を願い、豊
かな心をもってほしいという意味合いもあります。



兵見踊り

兵見踊りの由来について、参勤交代の島津の殿様について薩摩から
江戸間の長い行程を、苦勞しながら往復した兵児たちが、士気を鼓舞し
楽しい旅にしようと、夜の酒宴で踊ったものだといわれています。



鷹刺し踊り

踊りの由来について、領主の狩猟は武士の武術の修練と領民の動向視察
の目的をもって農民を勢子に駆り立て奉公させた。この鷹狩りの様子
を踊りにしこみ、お祭りや殿様の領内廻りなどの時、武運長久と領内安
穏、領民の安全を祈って踊るようになったといわれています。



六尺棒踊り

踊りの由来は、撃劔浅山流からあみだされたもので、藩主が一般の
士気を鼓舞し、いざというときに備え、棒術を踊りに仕込んで農民の
子に踊らせ、鍛錬したものという説もあります。



虚無僧踊り

虚無僧踊りの由来は、昔「虚無僧」に変装して、仇討ちの本懐
を遂げ、妻と喜んで踊った踊りと伝えられています。



三尺棒踊り

三尺棒踊りの由来は六尺棒踊りと同じ、三尺棒はもっ
ぱら相手の前後左右と切り結び合う剣劇風の踊りです。



俵踊り (中津川文化財少年団)

俵踊りの由来は、昔は社寺の落成式や祭りなど当日の催しものによく
相撲が企てられた、これを勧進相撲と呼んだ。この催しに寄進された金
品や米俵などを、土俵に積み上げて観衆に披露した様子を、踊ったもの
と伝えられています。

中津川区

金吾様踊り活性化実行委員会

お問い合わせ

090-7533-2468

代表 今東